

## 2020 年度実施概要

学校名

糸満市立糸満小学校

採択活動名

海人科 ～海人が活躍した糸満の海を学ぼう～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

| 単元名                                   | 学年  | 教科     |
|---------------------------------------|-----|--------|
| 1. クリスマスリースをつくろう                      | 3 年 | 図工科    |
| 2. 糸満の海とマイクロプラスチックごみ ～糸満の海を守り、育てるために～ | 4 年 | 総合的な学習 |
| 3. サンゴから環境を考える                        | 5 年 | 総合的な学習 |

取り組みの概要

## 1 クリスマスリースをつくろう【第3学年】

・身近な海「北名城ビーチ」から拾ってきた貝殻とサンゴ片を使って、自分の思いに合った作品づくりに臨んだ。砂浜に当たり前のようにある貝殻やサンゴ片は管理者に許可を得ないと持ち出すことはできないことを理解した。



リースづくりの様子



出来上がったリース

## 2 糸満の海とマイクロプラスチックごみ ～糸満の海を守り、育てるために～【第4学年】

・社会科の授業で学校周辺のごみ拾いをした児童たち。そんなごみの一部がマイクロプラスチックごみとなって海の生き物に悪い影響を与えることを学習した。本単元で糸満の海にもマイクロプラスチックごみがあるのか調べることを通して、身近な海にもマイクロプラスチックごみがあることを実感する。漁業のまち糸満の海を守り、育てるために自分たちに何ができるのか深く考えていく。



(右) マイクロプラスチックごみを探している様子



(左) 見つけたプラスチックごみ

## 3 サンゴから環境を考える【第5学年】

・座間味村阿嘉島にある「さんごゆんたく館」の館長 谷口洋基さんを招いてサンゴについて学習を行った。サンゴは動物で、夜は触手を伸ばしてプランクトンを食べるが、昼はサンゴの中にいる褐虫藻の光合成で栄養をもらっていることや、サンゴの卵は細胞分裂し、プラヌラ幼虫は海底を動いて住む場所を見つけることなど、児童にとって初めて知るきっかけとなった。



谷口さんの講話